

# サーバ診断カルテ セットアップガイド (Windows編)

- 1章 概 要
- 2章 インストール
- 3章 アンインストール
- 4章 アップデート
- 5章 付 録

---

# 目 次

---

目 次 .....	2
表 記 .....	3
本文中の記号 .....	3
外来語のカタカナ表記 .....	3
オペレーティングシステムの表記 .....	3
商 標 .....	3
本書に関する注意と補足 .....	4
最新版 .....	4
1 章 概 要 .....	5
1. はじめに .....	6
2. ユーザーサポート .....	7
3. 動作環境 .....	8
2 章 インストール .....	10
1. インストール .....	11
Web 公開物件からセットアッププログラムを起動する方法 .....	11
セットアッププログラムの実行 .....	12
インストール状態の確認 .....	15
3 章 アンインストール .....	17
1. NEC ログ通報サービス アンインストール .....	18
2. NEC ログ収集サービス アンインストール .....	20
4 章 アップデート .....	21
1. アップデート .....	22
Web 公開物件からセットアッププログラムを起動する方法 .....	22
セットアッププログラムの実行 .....	23
5 章 付 録 .....	25
1. 注意事項 .....	26
2. NEC ログ収集サービス 設定ファイル .....	29
3. NEC ログ通報サービス 管理コマンド .....	30
4. 利用許諾について .....	33
5. ログ収集タイミングの変更について .....	34
6. インストール時のエラーの対処 .....	36
エラーメッセージ一覧 .....	36
NEC ログ通報サービスインストール時エラーコード一覧 .....	36
エラー発生時の対処 .....	36

---

## 表 記




---

---

### 本文中の記号

---

本書では3種類の記号を使用しています。これらの記号は、次のような意味をもちます。

	ソフトウェアの操作などにおいて、守らなければならないことについて示しています。
	ソフトウェアの操作などにおいて、確認しておかなければならないことについて示しています。
	知っておくと役に立つ情報、便利なことについて示しています。

---

### 外来語のカタカナ表記

---

本書では外来語の長音表記に関して、国語審議会の報告を基に告示された内閣告示に原則準拠しています。ただし、OS やアプリケーションソフトウェアなどの記述では準拠していないことがあります。誤記ではありません。

---

### オペレーティングシステムの表記

---

本書では、Windows オペレーティングシステムを次のように表記します。

本書の表記	Windows OSの名称
Windows Server 2022	Windows Server 2022 Standard
	Windows Server 2022 Datacenter
Windows Server 2019	Windows Server 2019 Standard
	Windows Server 2019 Datacenter
Windows Server 2016	Windows Server 2016 Standard
	Windows Server 2016 Datacenter
Windows Server 2012 R2	Windows Server 2012 R2 Standard
	Windows Server 2012 R2 Datacenter

---

## 商 標

---

ESMPRO、Universal RAID Utility、NIAS は日本電気株式会社の登録商標です。  
その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。  
なお、本文には登録商標や商標に(TM)、(R)マークは記載しておりません。

---

## 本書に関する注意と補足

---

1. 本書の一部または全部を無断転載することを禁じます。
2. 本書に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 弊社の許可なく複製、改変することを禁じます。
4. 本書について誤記、記載漏れなどお気づきの点があった場合、お買い求めの販売店まで連絡してください。
5. 運用した結果の影響については、4 項に関わらず弊社は一切責任を負いません。
6. 本書の説明で用いられているサンプル値は、すべて架空のものです。

この説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いてください。

---

## 最新版

---

本書は作成日時点の情報をもとに作られており、画面イメージ、メッセージ、または手順などが実際のものと異なることがあります。変更されているときは、適宜読み替えてください。

本書では、Windows を運用しているサーバの稼働状況を示すサーバ診断カルテのセットアップ方法について説明しています。

運用 OS が VMware ESXi の場合は、「サーバ診断カルテ セットアップガイド（VMware ESXi 編）」を参照してください。

### 1. はじめに

### 2. ユーザーサポート

ソフトウェアに関する不明点、お問い合わせ先について説明しています。

### 3. 動作環境

サーバ診断カルテが動作する環境について説明しています。

# 1. はじめに

本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

本書の内容は、OS の機能、操作方法について十分に理解されている方を対象に説明しています。

OS に関する操作、不明点については、Windows ヘルプ オンラインなどをご確認ください。

サーバ診断カルテは、動作中のサーバの構成情報に加え、ハードウェアセンサー情報

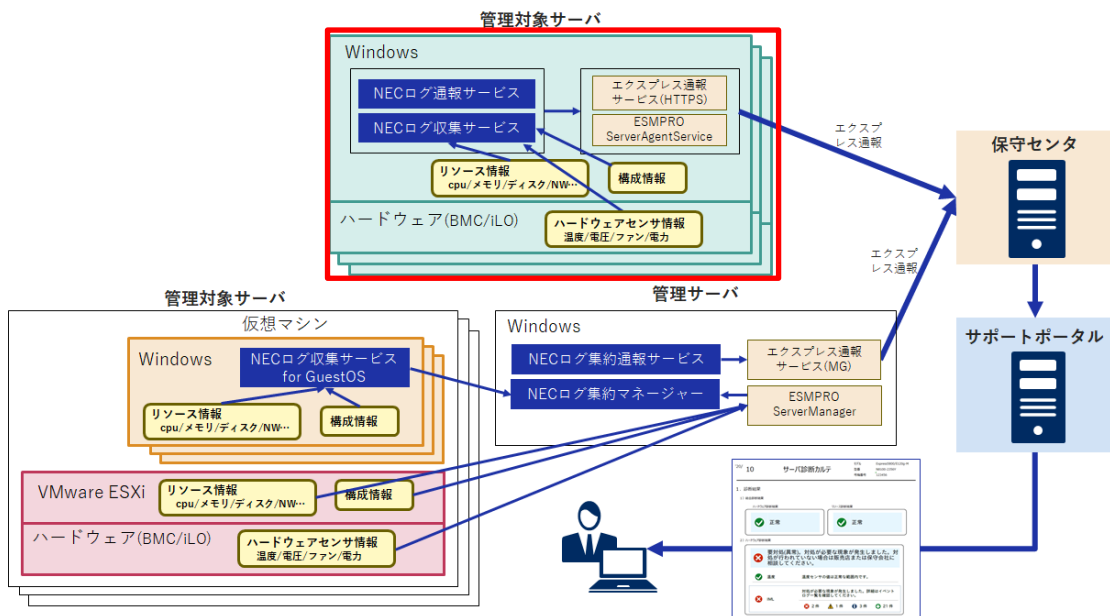
(温度/電圧/ファン/電力)、リソース情報(CPU/メモリ/ハードディスク/ネットワーク/プロセス/

サービス/ポート)といった詳細情報を定期的に採取し、エクスプレス通報サービス(HTTPS)を用いて

保守センターに通報して、システムの稼働状況を可視化することで現状のIT資産の活用度の把握のほか、

不具合があるパーツの買い替えや、適切なリソース増強時期などをスムーズに判断でき、

より安定したシステム運用を可能にします。本書は下図、下表の赤枠部分についてのドキュメントです。



	OS種別	インストールコンポーネント	備考
管理対象サーバ	Windows	NECログ収集サービス	・NECログ通報サービスも同時にインストールされます ・管理サーバは不要です ・「サーバ診断カルテ セットアップガイド (Windows編)」を参照してセットアップしてください
	ESXi	なし	・ESXiを管理対象にするには、 <b>管理サーバが必要です</b>
	Windows(仮想マシン)	NECログ収集サービス for GuestOS	・ESXi上の仮想マシンを管理対象にするには、 <b>管理サーバが必要です</b> ・「サーバ診断カルテ セットアップガイド (VMware ESXi編)」、「サーバ診断カルテ セットアップガイド (GuestOS編)」を参照してセットアップしてください。 ※Hyper-Vの仮想マシンには未対応です
管理サーバ	Windows Windows(仮想マシン)	NECログ集約マネージャー	・ESXi、およびESXi上の仮想マシンを管理対象とする場合に必要です ・NECログ集約通報サービスも同時にインストールされます ・「サーバ診断カルテ セットアップガイド (VMware ESXi編)」、「サーバ診断カルテ セットアップガイド (GuestOS編)」を参照してセットアップしてください。

管理サーバをカルテの対象とする場合は、管理サーバにNECログ収集サービスをインストールしてください。

管理サーバ(仮想マシン)をカルテの対象とする場合は、管理サーバ(仮想マシン)にNECログ収集サービス for GuestOSをインストールし、管理対象サーバとして登録してください。

保守センターへ通報するためには、エクスプレス通報サービス(HTTPS)(マネージャ経由含む)による通報手段が有効であることが必要です。無効の場合は通報しません。

エクスプレス通報サービス(HTTPS)のご契約の詳細については、以下のサイトをご確認ください。

NEC ビジネスPC/PC サーバ お客様登録

<http://acc.express.nec.co.jp/Main/main.asp>

エクスプレス通報サービス(HTTPS)は最新版を使用することを推奨します。

エクスプレス通報サービス(HTTPS)の設定方法はEXPRESSBUILDER DVD やStarter Pack に格納、またはWeb に公開しているドキュメントを参照してください。

NEC サポートポータル

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010102124>

エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS) インストレーションガイド(Windows 編)

サーバ診断カルテを作成するための作業の流れは、以下となります。

1. エクスプレス通報サービス(HTTPS)の開局設定。  
前述の「エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS) インストレーションガイド(Windows 編)」を参照して、開局設定してください。
2. ログ収集サービス/ログ通報サービスのインストール。（プリインストールされている場合を除く）  
「2章 インストール」を参照して、インストールを行ってください。
3. サーバ診断カルテの利用規約への同意。  
「5章 付録」の「4.利用許諾について」を参照して利用許諾の設定を行ってください。

---

## 2. ユーザーサポート

---

ソフトウェアに関する不明点は、お買い上げの弊社販売店、最寄りの弊社、または以下メールアドレスまでお願いします。

- サーバ診断カルテサービスのお申込みおよびサーバの設定に関するお問い合わせ先

[karute-uketuke@express.jp.nec.com](mailto:karute-uketuke@express.jp.nec.com)

- サーバ診断カルテの内容・参照方法に関するお問い合わせ先

[karute-tech@express.jp.nec.com](mailto:karute-tech@express.jp.nec.com)

---

## 3. 動作環境

---

サーバ診断カルテが動作するハードウェア/ソフトウェア環境は、次のとおりです。

### ● ハードウェア

対象機器については本ガイドをダウンロードしたサイトの「対象機器」をご覧ください。

- メモリ 1.0GB 以上
- ハードディスクドライブの空き容量 5.0GB 以上

(収集したログを保存する領域を含めます)



メモリ、ハードディスクドライブの容量については OS や関連ソフトウェアで使用する容量を除いた記載をしております。システム全体で必要となる容量については、別途各ソフトウェアの情報をご確認ください。

### ● ソフトウェア

以下のいずれかの OS

- Windows Server 2022
- Windows Server 2019
- Windows Server 2016
- Windows Server 2012 R2

必須ソフトウェア

- ESMPRO/ServerAgentService Ver.2.0 以降
- エクスプレス通報サービス(HTTPS) Ver3.9 以降
- .NET Framework 4.0 以降





---

---

# インストール

サーバ診断カルテの NEC ログ収集サービス/NEC ログ通報サービスのインストールについて説明します。

### 1. インストール

インストール手順について説明しています。

---

# 1. インストール

---

サーバ診断カルテでは、NEC ログ収集サービスのインストール時に NEC ログ通報サービスも同時にインストールされます。

---

## Web 公開物件からセットアッププログラムを起動する方法

---

1. ビルトイン Administrator(または管理者権限のあるアカウント)で、サインイン (ログイン)します。
2. Web 公開されているセットアッププログラムをダウンロードして解凍します。  
ダウンロードした MIoT\_Collect.zip を任意のフォルダーに格納し、解凍してください。
3. MIoT\_Collect.zip のセットアッププログラム「SETUP.EXE」をダブルクリックします。  
NEC ログ収集サービスのセットアップウィンドウが起動します。

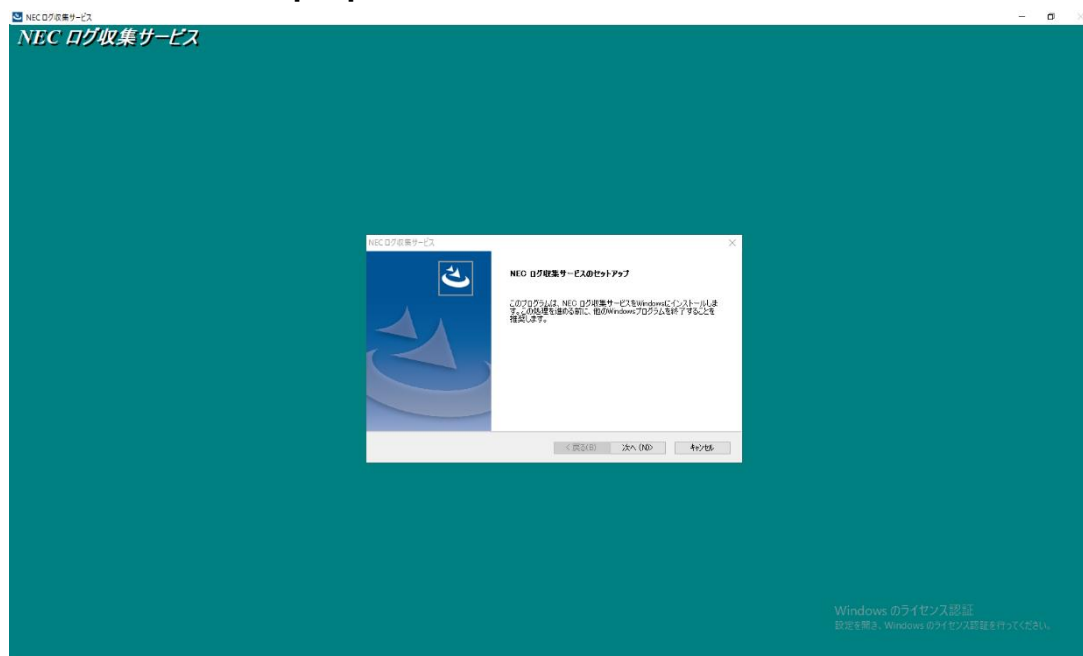
---

## セットアッププログラムの実行

---

セットアッププログラムのウィンドウに従って、インストールしてください。

1. 起動ウィンドウの[次へ]をクリックします。



2. サーバ診断カルテの利用許諾について選択します。

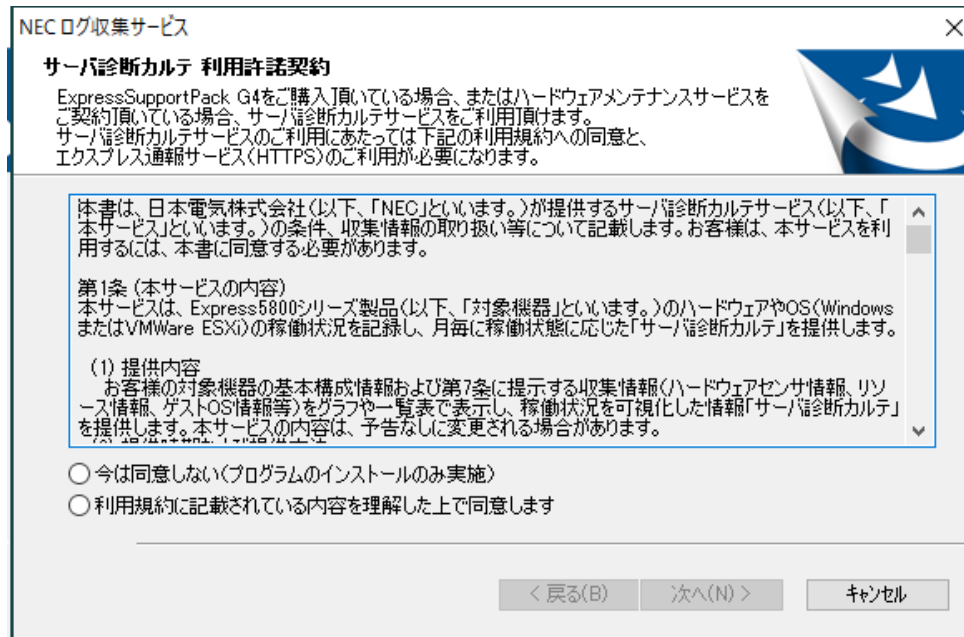
ラジオボタンで選択して「次へ」をクリックします。

「利用規約に記載されている内容を理解した上で同意します」を選択した場合は、プログラムのインストール後にサーバ診断カルテの作成に必要なログの収集を開始します。また、エクスプレス通報サービス(HTTPS)の開局が行われている場合、週に1度、収集したログの通報を行います。ログの収集日時を変更するには「5章 付録」の「5.ログ収集タイミングの変更について」を参照してください。

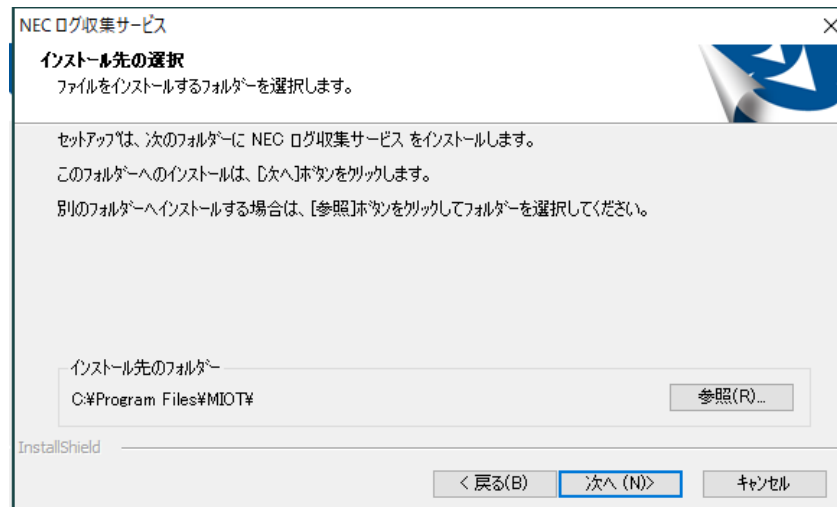
「今は同意しない(プログラムのインストールのみ実施)」を選択した場合は、プログラムのインストールのみを行います。

この場合、サーバ診断カルテの作成に必要なログの収集や通報は行いません。

インストールの後に有効にしたい場合は、サーバ診断カルテの利用許諾プログラムから利用規約に同意する必要があります。手順は付録の「利用許諾について」を参照してください。



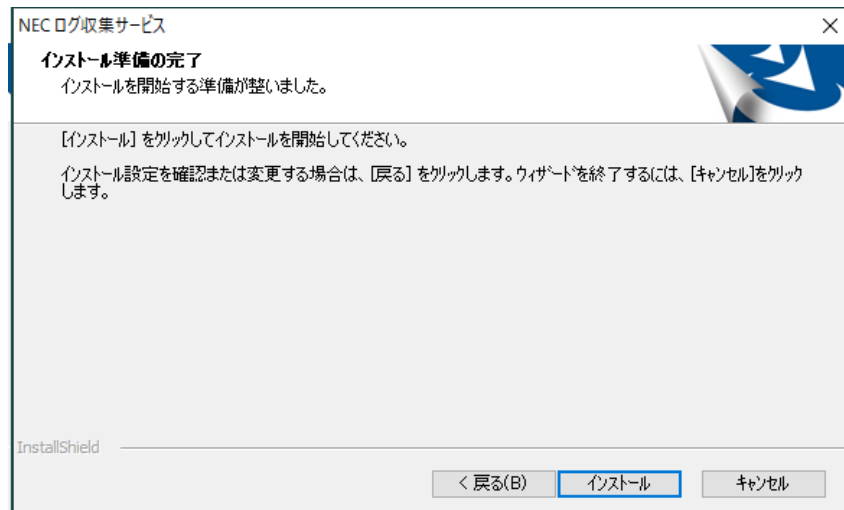
3. インストール先を選択します。デフォルトのインストールフォルダーから変更する場合は「参照」をクリックします。フォルダーの選択後に「次へ」をクリックします。



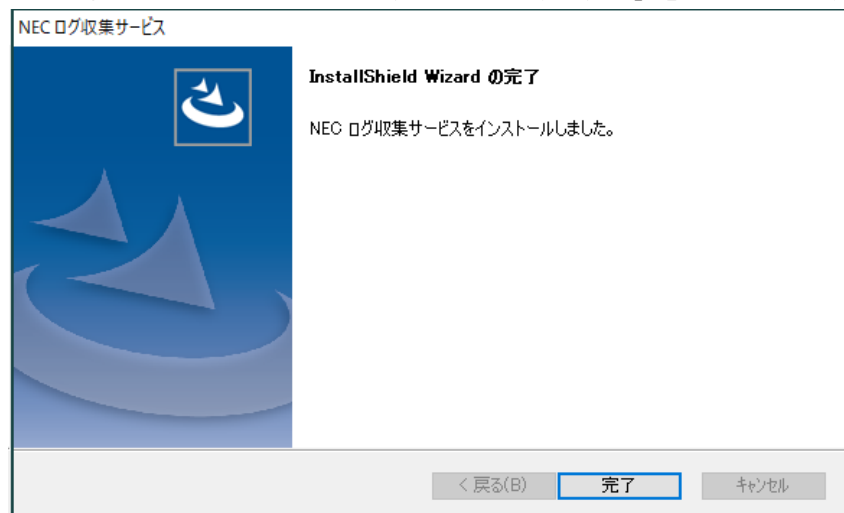
※インストールフォルダー配下に、動作中のサーバの情報を採取します。

動作環境に記載のハードディスクの空き容量のあるフォルダーを指定してください。

5. インストールを開始します。「インストール」をクリックします。



6. NEC ログ収集サービスのインストールが完了しました。「完了」をクリックします。

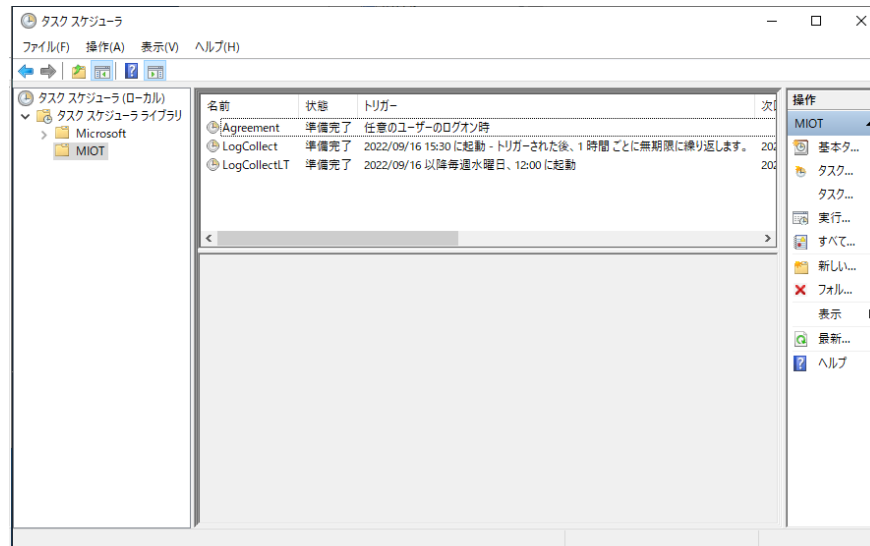


以上でインストールは終了です。

## インストール状態の確認

NEC ログ収集サービスがインストールされているか確認するには、以下の手順に従ってください。

1. スタートメニュー⇒Windows 管理ツールを開きます。
2. タスクスケジューラを起動しタスクスケジューラライブラリを開きます。
3. MIOT フォルダを選択し、LogCollect、LogCollectLT および Agreement タスクが表示され、状態が「準備完了」となっていることを確認します。

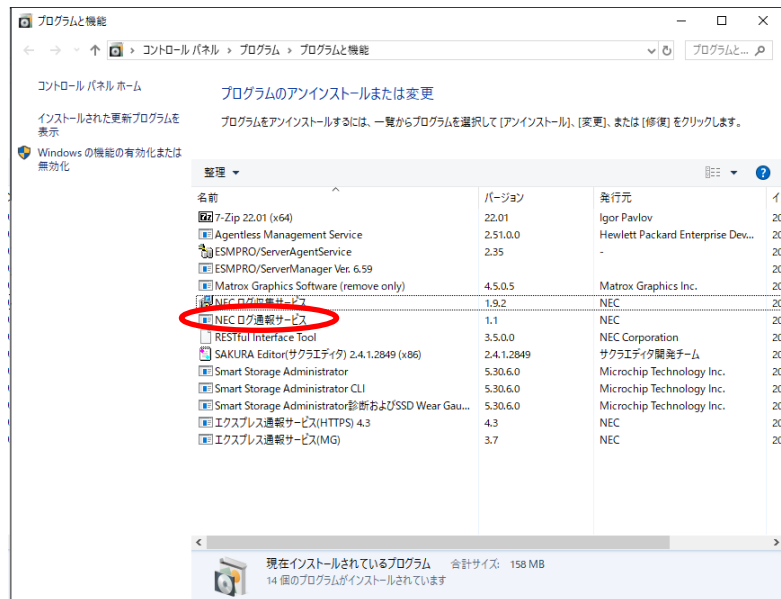


サーバの構成情報を収集する LogCollectLT は、毎週水曜日の 12:00 に起動するように設定されています。

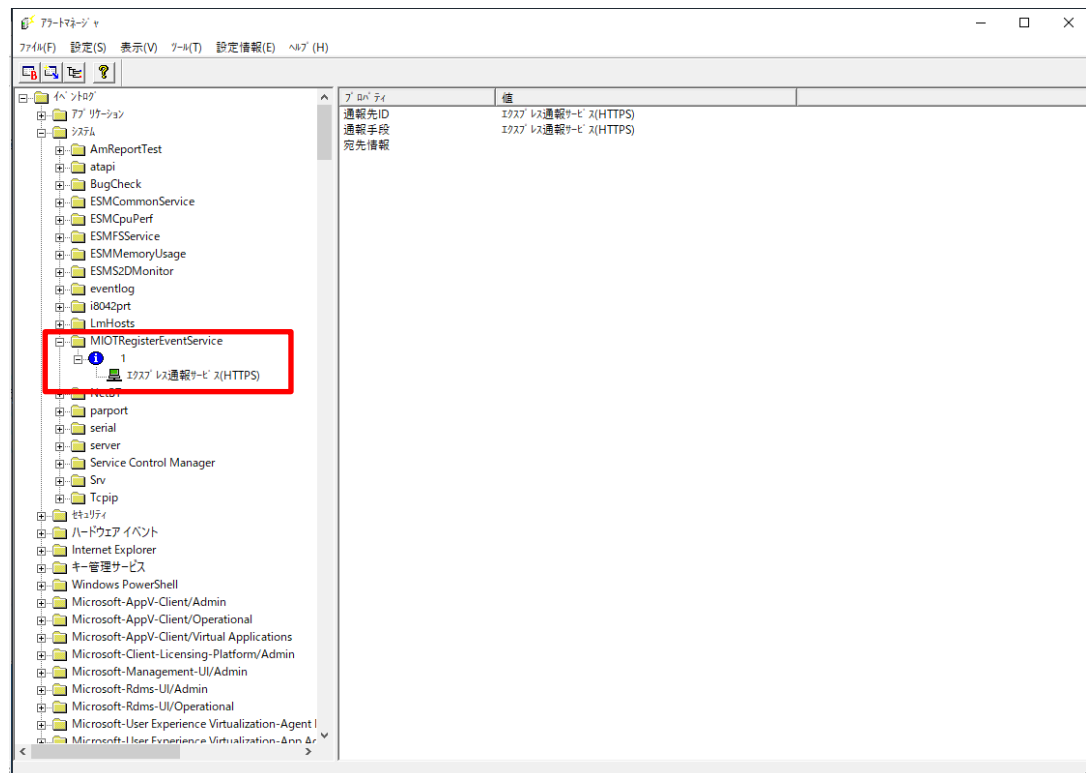
システム負荷の観点などから、本設定で問題がある場合は、起動曜日、時刻の変更が行えます。手順は付録の「ログ収集タイミングの変更について」を参照してください。

NEC ログ通報サービスがインストールされているか確認するには、以下の手順に従ってください。

1. コントロールパネルの「プログラムと機能」をクリックします。
2. 「プログラムと機能」に「NEC ログ通報サービス」が表示されている事を確認します。



3. スタートメニュー(またはスタート画面の全てのアプリ)から[通報設定]をクリックし、アラートマネージャ設定ウィンドウを起動します。
4. ウィンドウ左側のイベントログツリーを展開し、[イベントログ]-[システム]-[MIOTRegisterEventService]-[イベント ID(1 もしくは 0x40000001)]が表示され、[エクスプレス通報サービス(HTTPS)] が通報対象に紐付いている事を確認します。  
エクスプレス通報サービスをインストールしていない場合、[イベント ID(1 もしくは 0x40000001)]に[エクスプレス通報サービス]は表示されません。





---

## アンインストール

サーバ診断カルテのアンインストールについて説明します。

### 1. NECログ通報サービスアンインストール

NECログ通報サービスのアンインストール手順について説明しています。

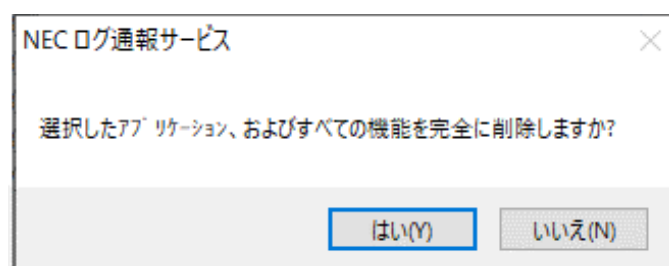
### 2. NECログ収集サービスアンインストール

NECログ収集サービスのアンインストール手順について説明しています。

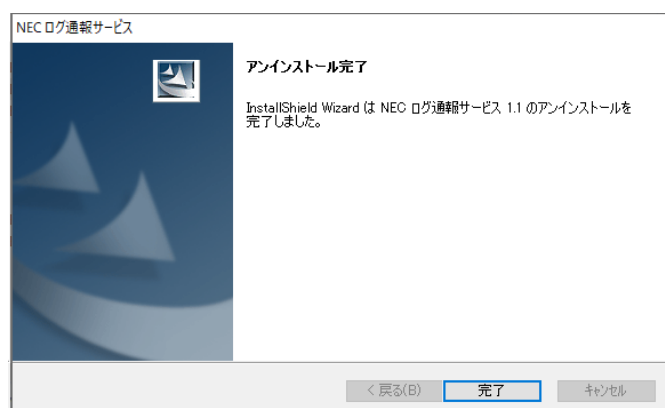
# 1. NEC ログ通報サービス アンインストール

NEC ログ通報サービスをアンインストールする手順を説明します。  
Administrator ユーザーでログインして、実施してください。

1. 「コントロールパネル」の[プログラムと機能]をダブルクリックします。
2. NEC ログ通報サービスを選択して[アンインストール]をクリックします。
3. 削除の実行を確認するウィンドウで、[はい]をクリックします。



4. 終了のウィンドウが表示されたあと、[完了]をクリックします。



OS の再起動は不要です。

以上で、NEC ログ通報サービスのアンインストールは完了です。



NEC ログ通報サービスのアンインストール完了後、エクスプレス通報サービス(HTTPS)の定義ファイル(AMHTPLOG.INF)を以下のように編集してください。  
(アンインストール後、同じインストールパスへ再インストールをおこなう場合は、不要です。)

<定義ファイルのパス : %EsmDir%\AlertMan\Work\WebReprt>  
<ファイル名 : AMHTPLOG.INF>

定義ファイルの[Toolxxx](xxx : 3桁の数字)に記載されている

SourceName01=MIOTRegisterEventService の[Toolxxx]セクションを全て削除してください。

例 :

[Tool001]

SourceName01=MIOTRegisterEventService

EventID01=0x40000001

Command=C:¥Program Files¥MIOT¥MIOT\_WATCH\_REPORT.BAT

LogFile=C:¥Program Files¥MIOT¥report

Directory=C:¥Program Files¥MIOT

上記をすべて削除してください。

もし、削除対象の[Toolxxx]以降にも[Toolxxx]セクションがある場合は、以降の xxx の数字が1ずつの昇順になるように編集してください。

例)

-----  
[Tool001]

:

[Tool002]

SourceName01=MIOTRegisterEventService

EventID01=0x40000001

Command=C:¥Program Files¥MIOT¥MIOT\_WATCH\_REPORT.BAT

LogFile=C:¥Program Files¥MIOT¥report

Directory=C:¥Program Files¥MIOT

[Tool003]

:

[Tool004]

:

-----  
[Tool002]のセクションを削除し、[Tool003]以降のセクションを編集してください。

↓

編集後

-----  
[Tool001]

:

[Tool002] ←[Tool003]から[Tool002]に編集

:

[Tool003] ←[Tool004]から[Tool003]に編集

:

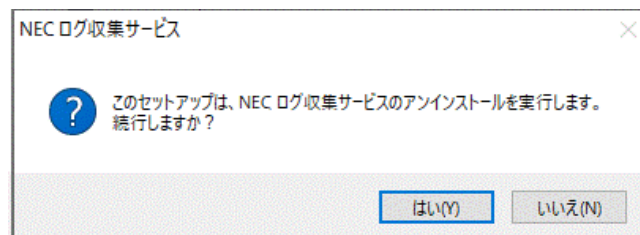
## 2. NEC ログ収集サービス アンインストール

NEC ログ収集サービスをアンインストールする手順を説明します。

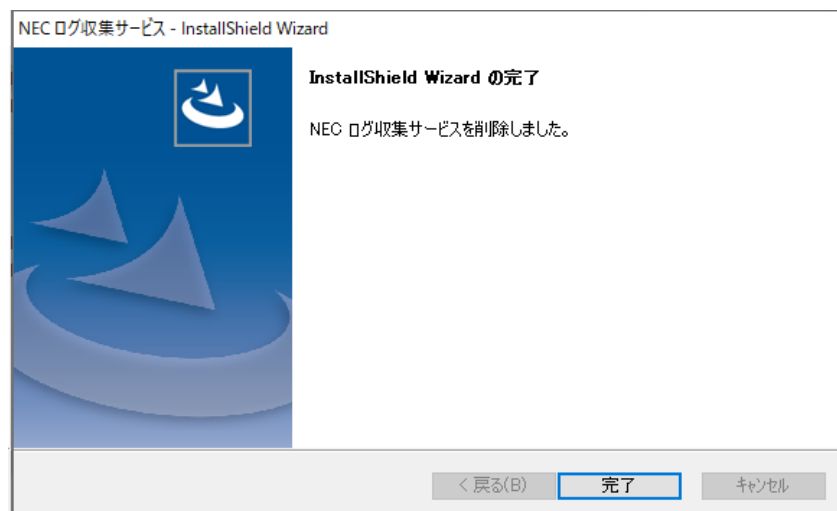
事前に NEC ログ通報サービスのアンインストールを実施してください。

Administrator ユーザーでログインして、実施してください。

1. 「コントロールパネル」の[プログラムと機能]をダブルクリックします。
2. NEC ログ収集サービスを選択して[アンインストール]をクリックします。
3. 削除の実行を確認するウィンドウで、[はい]をクリックします。



4. 終了のウィンドウが表示されたあと、[完了]をクリックします。



アンインストール後にインストールディレクトリにファイルが残る場合があります。  
削除する場合はシステムを再起動後に手動で削除してください。

以上でアンインストールは終了です。

---

# アップデート

サーバ診断カルテのアップデートインストールについて説明します。

### 1. アップデート

アップデートインストール手順について説明しています。

---

# 1. アップデート

---

サーバ診断カルテでは、NEC ログ収集サービスのアップデート時に NEC ログ通報サービスも同時にアップデートされます。

---

## Web 公開物件からセットアッププログラムを起動する方法

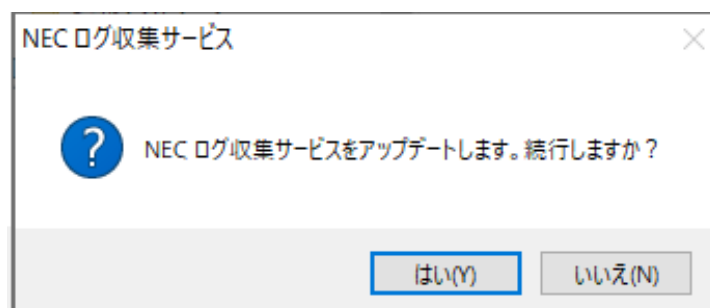
---

1. ビルトイン Administrator(または管理者権限のあるアカウント)で、サインイン(ログイン)します。
2. Web 公開されているセットアッププログラムをダウンロードして解凍します。  
ダウンロードした MIoT\_Collect.zip を任意のフォルダーに格納し、解凍してください。
3. MIoT\_Collect.zip のセットアッププログラム「SETUP.EXE」をダブルクリックします。  
NEC ログ収集サービスのアップデート確認ウィンドウが起動します。

## セットアッププログラムの実行

セットアッププログラムのウィンドウに従って、アップデートしてください。

1. 確認ウィンドウの[はい]をクリックします。



2. サーバ診断カルテの利用許諾について選択します。

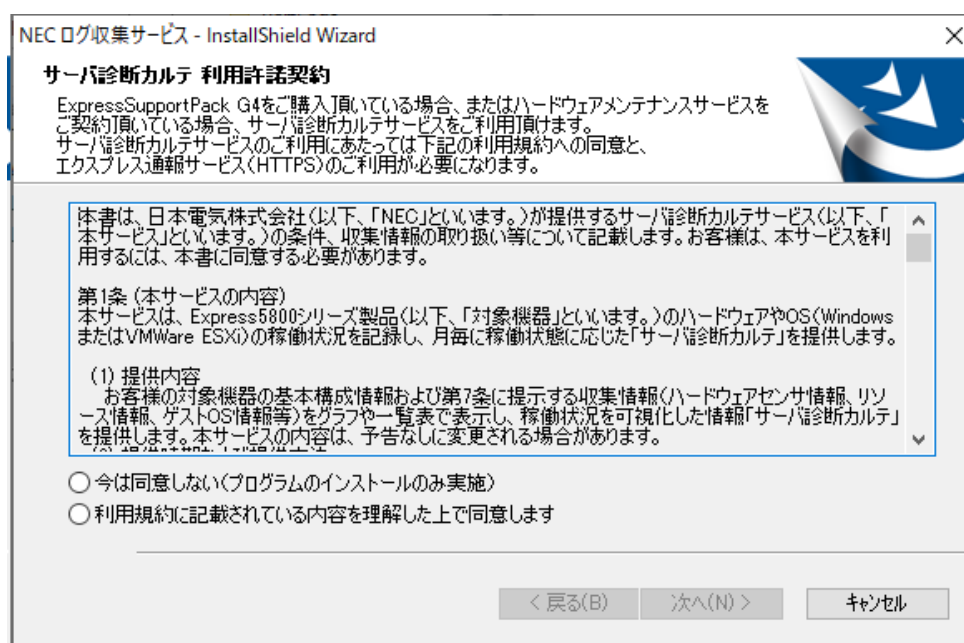
ラジオボタンで選択して「次へ」をクリックします。

「利用規約に記載されている内容を理解した上で同意します」を選択した場合は、プログラムのアップデート後にサーバ診断カルテの作成に必要なログの収集を開始します。また、エクスプレス通報サービス(HTTPS)の開局が行われている場合、週に1度、収集したログの通報を行います。ログの収集日時を変更するには「5章 付録」の「5.ログ収集タイミングの変更について」を参照してください。

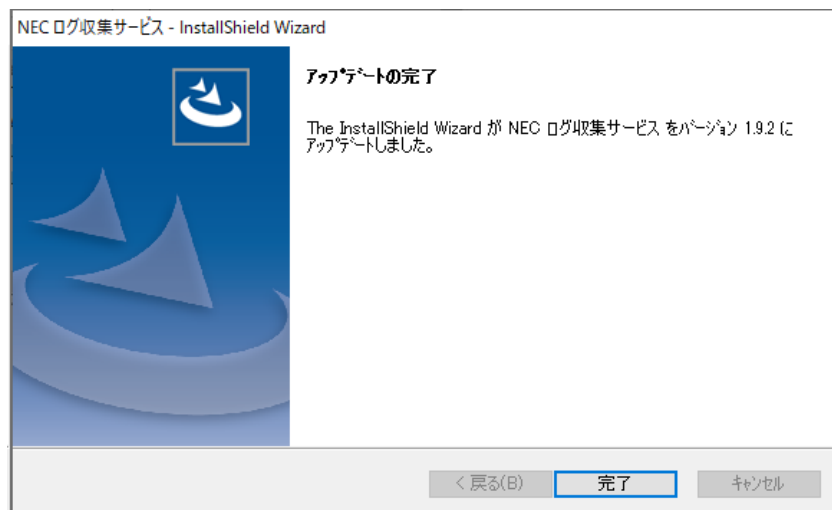
「今は同意しない（プログラムのインストールのみ実施）」を選択した場合は、プログラムのアップデートのみを行います。

この場合、サーバ診断カルテの作成に必要なログの収集や通報は行いません。

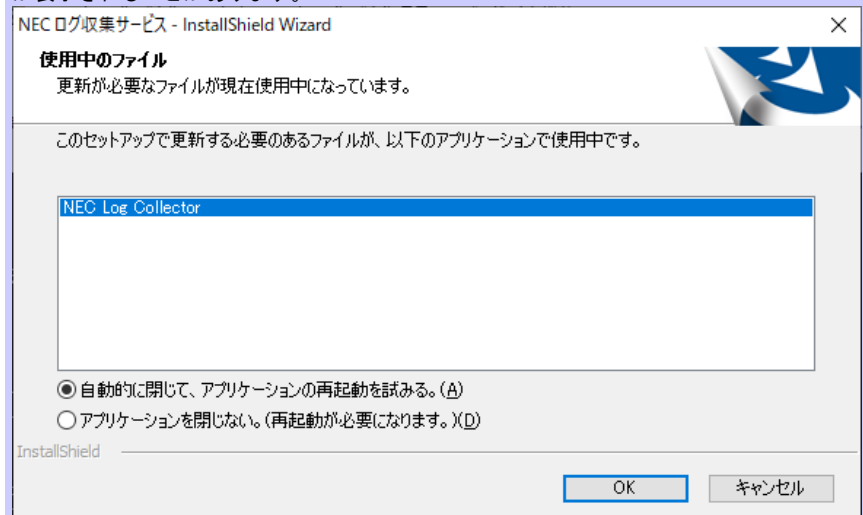
インストールの後に有効にしたい場合は、サーバ診断カルテの利用許諾プログラムから利用規約に同意する必要があります。手順は付録の「利用許諾について」を参照してください。



3. 終了のウィンドウが表示されたあと、[完了]をクリックします。



アップデートを実行した時に、収集プログラムが実行中であった場合、以下のダイアログが表示されることがあります。



「自動的に閉じて、アプリケーションの再起動を試みる。」と「アプリケーションを閉じない。(再起動が必要になります。)」のどちらを選択しても「OK」押下後、正しくアップデートが実行されます。「キャンセル」を選択した場合、アップデートを行わずに終了します。その際にタスクの再登録が必要となりますので、インストールフォルダー内の Add\_Scheduler\_MIoT.bat を実行してタスクスケジューラへのタスクの登録を実施してください。タスクの実行タイミングは、「5章 付録」の「5.ログ収集タイミングの変更について」を参照し、環境に合わせて適宜変更してください。



サーバ診断カルテの注意事項、利用許諾などについて説明します。

### 1. 注意事項

サーバ診断カルテの注意すべき点を説明しています。

### 2. NEC ログ収集サービス 設定ファイル

NEC ログ収集サービスの設定ファイルについて説明しています。

### 3. NEC ログ通報サービス 管理コマンド

NEC ログ通報サービスの管理コマンドについて説明しています。

### 4. 利用許諾について

サーバ診断カルテの利用許諾について説明しています。

### 5. ログ収集タイミングの変更について

NEC ログ収集サービスのログ収集タイミングの変更について説明しています。

### 6. インストール時のエラーの対処

NEC ログ通報サービスのインストール時のエラーの対処を説明しています。

---

# 1. 注意事項

---

## ■月を跨いだ場合のサーバ診断カルテ出力について

- 更新プログラム、サービス、ドライバ、ソフトウェアの情報について、月末のインストール、アンインストール、更新を行った場合、その変更は、翌月のサーバ診断カルテに出力される場合があります。
- システム稼働時間及びディスク稼働時間について、月末の稼働時間は翌月のサーバ診断カルテに累積されて出力される場合があります。
- バックアップ ジョブ一覧について、月末のジョブの実行結果は今月と翌月のサーバ診断カルテに重複して出力される場合があります。

## ■Windows のイベントログ設定について

- NECログ収集サービスは1週間に一度Windowsのイベントログを収集します。Windowsのイベントログが1週間以上保証されるように、Windowsのイベントログの設定を行ってください。

## ■NEC ログ収集サービスのログ収集開始タイミングについて

- サーバ診断カルテの利用許諾において「利用規約に記載されている内容を理解した上で同意します」を選択した後に、サーバ診断カルテの作成に必要なログの収集を開始します。そのためサーバ診断カルテに表示される情報はログ収集開始以前の情報は含まれません。

## ■Hyper-V 管理機能と VMware PowerCLI の競合について

- NECログ収集サービスではHyper-V管理情報をログとして取得します。Hyper-V管理機能がVMware PowerCLIと競合するため、VMware PowerCLIが導入されている環境ではHyper-Vの管理情報を取得し、カルテに表示することはできません。

## ■ストレージ診断カルテについて

- ストレージ診断カルテをご利用頂く際には、事前に本モジュールのインストールが必要です。ストレージ診断カルテおよびストレージ診断カルテモジュールについては[ストレージ診断カルテ](#)を参照してください。

## ■iStorage NS シリーズにおけるサーバ診断カルテサービスについて

- iStorage NSシリーズにプリインストールされているサーバ診断カルテは、NECログ通報サービスのサービス状態「停止」の設定でインストールされております。そのため、エクスプレス通報サービス

(HTTPS)を開局しても、サーバ診断カルテの通報は実施されず、サーバ診断カルテサービスを利用できません。サーバ診断カルテサービスを利用する場合は、エクスプレス通報サービス(HTTPS)を開局した後に、付録「3. NECログ通報サービス 管理コマンド」を参照して、NECログ通報サービスを開始してください。

## ■Windows Server 2022、Windows Server IoT 2022 for Storage

### Workgroup、Windows Server IoT 2022 for Storage Standard 環境で利用する場合の制限について

- サーバ診断カルテ(Windows対応版)では、下記項目には対応しておりません。

- ① ソフトウェアログ情報
  - ・ バックアップ ジョブ一覧
- ② ハードウェア構成情報の下記項目
  - ・ 製品情報
  - ・ 物理ディスク情報の累積稼働時間
  - ・ RAID物理ディスク情報の累積稼働時間

## ■Intel VROC(Virtual RAID on CPU)について

- サーバ診断カルテは Intel VROC(Virtual RAID on CPU) に対応しておりません。このため、Intel VROCでRAIDを構成している場合、RAID情報が表示されません。

## ■サーバ診断カルテ(Windows 対応版)の注意事項

- 対象装置が下記装置の場合、ハードウェア構成情報のCPU情報の下記項目が正しく表示されません。
  - ・ CPUの個数
  - ・ L1キャッシュサイズ

#### 【装置】

- ・ Express5800/T110m-S
- ・ Express5800/T110m
- ・ Express5800/T110m バリュースモデル
- ・ Express5800/T110k
- ・ Express5800/T110k バリュースモデル
- ・ Express5800/T110k-S
- ・ Express5800/R110k-1
- ・ iStorage NS100Tk

## ■Express5800/R120j-1M、Express5800/R120j-2M 環境で利用する場合の注意事項

- サーバ診断カルテ(Windows対応版)Ver.1.9.3以前のバージョンをご利用の場合、カルテの下記表示項目には対応していません。

① ハードウェア構成情報のシステムマネジメント情報のBMC FW バージョン

上記表示項目に対応した「サーバ診断カルテ(Windows対応版)Ver.1.9.4」を公開しましたので、本バージョン以降のモジュールをご利用ください。

## 2. NEC ログ収集サービス 設定ファイル

NEC ログ収集サービスは設定ファイルによって、ログ収集の設定を変更出来ます。

設定ファイルは、インストールフォルダーの watch.conf です。設定ファイルの変更が必要な場合は、

Administrator ユーザーでログインしてテキストエディタで編集してください。

設定した値が設定可能値の範囲外の場合、もしくはプロパティを削除した場合は既定値で動作します。

※本設定ファイルはサービス提供元から指定があった場合のみ変更します。

プロパティ	設定可能値	説明	既定値
start_collection	on,off	ログ収集の可否全体を指定	on
log_life_time	1-12	ローカルディスクへのログデータファイル保持期間を「箇月」で指定	12
log_save_max_size	500 以上	ローカルディスクへのログデータファイル保存最大容量を MB 単位で指定	3000
res_diskspace	on,off	Disk の空き容量(使用量)の収集可否を指定	on
res_process	on,off	プロセスのリソース情報収集可否を指定	on
res_service	on,off	サービスのリソース情報収集可否を指定	on
res_net_port	on,off	ネットワークポートのリソース情報の収集可否を指定	on
res_os_log	on,off	OS ログ(イベントログ)の収集可否を指定	on
res_hw_log	on,off	HW ログの収集可否を指定	on
config_system	on,off	システム HW 本体情報の収集可否を指定	on
config_device	on,off	システム HW 搭載デバイス情報の収集可否を指定	on
config_raid	on,off	RAID デバイス情報の収集可否を指定	on
config_vm	on,off	Hyper-V 情報の収集可否を指定	on
info_os	on,off	動作 OS 情報の収集可否を指定	on
info_sas	on,off	インストールされている Server Agent Service 情報の収集可否を指定	on
info_saex	on,off	インストールされている Server Agent Extention 情報の収集可否を指定	on
info_uru	on,off	インストールされている Universal Raid Utility 情報の収集可否を指定	on
info_service	on,off	動作しているサービスの情報の収集可否を指定	on
info_driver	on,off	インストールされているドライバの情報収集可否を指定	on
info_swpp	on,off	インストールされているソフトウェアの情報収集可否を指定	on
info_nias	on,off	インストールされている NIAS 情報の収集可否を指定	on

---

## 3. NEC ログ通報サービス 管理コマンド

---

インストールフォルダーの tool 配下に NEC ログ通報サービス管理コマンド(以降、管理コマンドと表記)を提供しています。

1. 管理コマンドを使用するには、エクスプレス通報サービス(HTTPS) Ver3.9 以降が動作している必要があります。  
必ず、エクスプレス通報サービス(HTTPS) Ver3.9 以降をインストールして、動作させてください。
2. 管理コマンドは Administrator 権限を持つユーザーで実行してください。
3. 管理コマンドは複数同時に使用することはできません。

---

### 機 能

1. サービス(NEC Log Reporting Service)の状態(開始／停止)の設定
2. サービス(NEC Log Reporting Service)の状態、通報間隔、次の通報予定日時を表示

---

### 設 定

管理コマンドの使用方法は以下のとおりです。

```
# cd {インストールパス}\tool  
# miotrvt.exe [OPTION]
```

## [OPTION] 指定

[OPTION] には以下のオプションを指定します。

オプション	説明																						
/v	サービス(NEC Log Reporting Service)の状態(Running／Stopped)、通報間隔、次の通報予定日時を表示します。 表示例) Service Status : Running ScheduleType : every week  <table><tr><th>項目</th><th>内容</th><th>意味</th></tr><tr><td colspan="3">-----</td></tr><tr><td rowspan="4">Service Status</td><td>Start Pending</td><td>保留中</td></tr><tr><td>Running</td><td>サービス開始中</td></tr><tr><td>Stop Pending</td><td>保留中</td></tr><tr><td>Stopped</td><td>サービス停止中</td></tr><tr><td rowspan="3">Schedule Type</td><td>every day</td><td>毎日</td></tr><tr><td>every week</td><td>毎週</td></tr><tr><td>every month</td><td>毎月</td></tr></table>	項目	内容	意味	-----			Service Status	Start Pending	保留中	Running	サービス開始中	Stop Pending	保留中	Stopped	サービス停止中	Schedule Type	every day	毎日	every week	毎週	every month	毎月
項目	内容	意味																					
-----																							
Service Status	Start Pending	保留中																					
	Running	サービス開始中																					
	Stop Pending	保留中																					
	Stopped	サービス停止中																					
Schedule Type	every day	毎日																					
	every week	毎週																					
	every month	毎月																					
/s start stop	サービス(NEC Log Reporting Service)の起動・停止を設定します。 start : 起動 / stop : 停止 表示例) Start service : Operation succeed. Stop service : Operation succeed.  <table><tr><th>項目</th><th>意味</th></tr><tr><td colspan="2">-----</td></tr><tr><td>Start service : Operation succeed.</td><td>サービスを開始しました。</td></tr><tr><td>Stop service : Operation succeed.</td><td>サービスを停止しました。</td></tr></table>	項目	意味	-----		Start service : Operation succeed.	サービスを開始しました。	Stop service : Operation succeed.	サービスを停止しました。														
項目	意味																						
-----																							
Start service : Operation succeed.	サービスを開始しました。																						
Stop service : Operation succeed.	サービスを停止しました。																						

※その他の OPTION は、管理用のため通常使用しないでください。

サービス提供元から指定があった場合のみ使用します。

## 戻り値

管理コマンドの戻り値は以下のとおりです。

戻り値	説明
0	設定に成功しました。
1	設定に失敗しました。指定しているオプションの内容を確認してください。
2	設定に失敗しました。ログインしているユーザーにコマンドの実行権限がありません。

## エラーメッセージ

管理コマンドのエラーメッセージは以下のとおりです。

メッセージ	説明	戻り値
%s: Setting succeed!	指定した項目が設定成功、%s は項目名です。	0
%s: Setting failed!	指定した項目が設定失敗、%s は項目名です。	1
Service Status : Get failed. ScheduleType : %設定値% Next Report Time : %設定値%	サービス(NEC Log Reporting Service)の状態取得に失敗しました。	1
Service Status : %設定値% ScheduleType : Get failed. Next Report Time : %設定値%	通報間隔の取得に失敗しました。	1
Service Status : %設定値% ScheduleType : %設定値% Next Report Time : Get failed.	次の通報予定日時の取得に失敗しました。	1
%s: Set failed. Parameter is invalid.	オプションの引数が不正です。%s は項目名です。	1
Start service: Operation failed.	サービス(NEC Log Reporting Service)起動に失敗しました。	1
Stop service: Operation failed.	サービス(NEC Log Reporting Service)停止に失敗しました。	1



## 4. 利用許諾について

サーバ診断カルテを使用するには、本プログラムの利用規約に同意する必要があります。  
エクスプレス通報サービス(HTTPS)を開局状態で、かつ一度も本利用規約に同意の選択をされていない場合はOS ログイン時に本許諾画面が自動的に開きます。

本章では、サーバ診断カルテのインストールの際に「後で確認します」を選択してインストールした場合に、後から利用規約に同意し、サーバ診断カルテを利用する方法について説明します。

なお、同意に関する設定を変更する場合は、スタートメニューから本許諾画面を起動し、「同意しない」を選択してください。サーバ診断カルテに必要なログの採取と NEC へのログの送信が停止します。

1. スタートメニューから「サーバ診断カルテ」をクリックします。
2. サーバ診断カルテの利用許諾のウィンドウに記載の利用規約を最後までお読みいただき、同意いただける場合は「利用規約に同意したうえで利用を開始する」をクリックします。

利用規約

サーバ診断カルテ利用規約

ExpressSupportPack G4をご購入頂いている場合、またはハードウェアメンテナンスサービスをご契約頂いている場合、サーバ診断カルテサービスをご利用頂けます。  
サーバ診断カルテサービスのご利用にあたっては下記の利用規約への同意が必要になります。

本書は、日本電気株式会社(以下、「NEC」といいます。)が提供するサーバ診断カルテサービス(以下、「本サービス」といいます。)の条件、収集情報の取り扱い等について記載します。お客様は、本サービスを利用するには、本書に同意する必要があります。

第1条 (本サービスの内容)  
本サービスは、Express5800シリーズ製品(以下、「対象機器」といいます。)のハードウェアやOS(WindowsまたはVMWare ESX)の稼働状況を記録し、毎月稼働状態に応じた「サーバ診断カルテ」を提供します。

(1) 提供内容  
お客様の対象機器の基本構成情報および第7条に提示する収集情報(ハードウェアセンサ情報、リソース情報、ゲストOS情報等)をグラフや一覧表で表示し、稼働状況を可視化した情報「サーバ診断カルテ」を提供します。本サービスの内容は、予告なしに変更される場合があります。

(2) 提供時期および提供方法  
サーバ診断カルテは毎月1回提供します。当月分のサーバ診断カルテは、翌月15日迄にNECサポートポータルに掲載する方法にて提供します。

第2条 (本サービスの条件)  
本サービスの利用は、対象機器が次の条件を満たす必要があります。  
(1) NECが下記Webサイトで指定するExpress5800シリーズの機種であること

サーバ診断カルテについては以下を参照してください  
<https://jpn.nec.com/pcserver/supportpack/karte/index.html>

キャンセル

利用規約に同意した上で利用を開始する



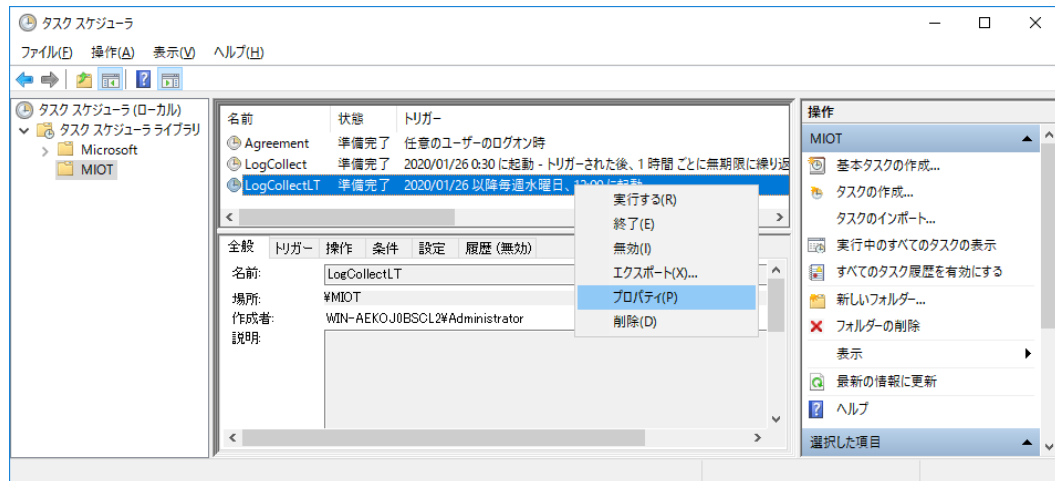
利用規約に同意するためには、あらかじめ、エクスプレス通報サービス(HTTPS)による通報手段を有効にしておく必要があります。

## 5. ログ収集タイミングの変更について

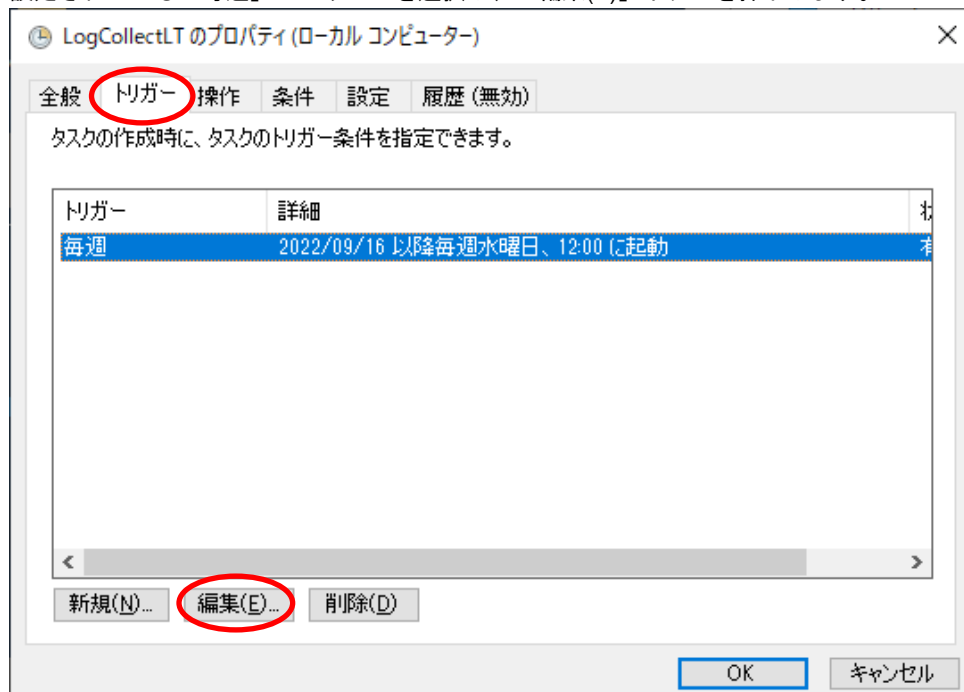
タスクスケジューラに登録されている NEC ログ収集サービスの設定（MIOT）のうち、LogCollectLT は、毎週水曜日の 12:00 に起動するように設定されています。

システムの運用状況に応じて、起動曜日、時刻を以下の手順で変更してください。

1. タスクスケジューラ画面の LogCollectLT を選択し、右クリックで表示されるメニューから「プロパティ(P)」を選択します。



2. LogCollectLT のプロパティダイアログの「トリガー」タブを選択します。
3. 設定されている「毎週」のトリガーを選択し、「編集(E)」ボタンを押下します。



4. 表示されたトリガーの編集ダイアログの「設定」フィールドの「開始(S)」の時刻、または「週間ごとの次の曜日」の曜日の設定を変更します。（それ以外の項目は変更しないでください。）

トリガーの編集

タスクの開始(G): スケジュールに従う

設定

☐ 1回(N)  
☐ 毎日(D)  
☒ 毎週(W)  
☐ 毎月(M)

開始(S): 2022/09/16 12:00:00

☐ タイムゾーン間で同期(Z)

間隔(I): 1 週間ごとの次の曜日:  
☐ 日曜日(U) ☐ 月曜日(A) ☐ 火曜日(T) ☒ 水曜日(Y)  
☐ 木曜日(H) ☐ 金曜日(F) ☐ 土曜日(S)

詳細設定

☐ 遅延時間を指定する(ランダム)(K): 1時間  
☐ 繰り返し間隔(P): 1時間 継続時間(E): 1日間  
☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する(I)

☐ 停止するまでの時間(L): 3日間  
☐ 有効期限(X): 2023/09/16 16:01:23 ☐ タイムゾーン間で同期(E)

☒ 有効(B)

OK キャンセル

5. 「OK」ボタンを押下してトリガーの編集ダイアログを閉じてください。
6. 「OK」ボタンを押下して LogCollectLT のプロパティダイアログを閉じてください。
7. タスクスケジューラ画面の LogCollectLT が変更した曜日、または時刻に起動するように設定されていることを確認してください。



LogCollectLT 以外の Agreement、LogCollect の設定は変更しないでください。  
また、LogCollectLT の設定も、時刻、曜日以外は変更しないでください。  
変更した場合、サーバ診断カルテが正しく作成されなくなります。



設定変更により各タスクの開始時刻が重複する場合、システムが高負荷となる可能性がございます。  
システムの運用状況によって設定を調整してください。

## 6. インストール時のエラーの対処

NEC ログ収集サービス、NEC ログ通報サービスのインストール時にエラーが発生した場合の対処方法を示します。エラーが発生した場合は、以下の手順に従ってください。

### エラーメッセージ一覧

- セットアップは管理者権限で実行してください。  
管理者権限がない場合のエラーです。管理者でログインし直して再度実行してください。
- このオペレーティングシステムへのインストールはサポートしていません。  
サポート対象外の OS で実行した場合のエラーです。サポート OS は、「3.動作環境」を参照してください。
- この装置へのインストールはサポートしていません。  
サポート対象外の装置で実行した場合のエラーです。サポート装置を確認してください。
- NEC ログ通報サービスのセットアップに失敗しました。 エラーコード：XXXX  
NEC ログ通報サービスのインストールに失敗したことを示します。NEC ログ通報サービスインストール時エラーコード一覧を参照してください。

### NEC ログ通報サービスインストール時エラーコード一覧

エラーコード	意味	対処
1003	エクスプレス通報サービス(HTTPS)がインストールされていない、または、エクスプレス通報サービス(HTTPS) Ver3.9 未満がインストールされています。	エクスプレス通報サービス(HTTPS) Ver3.9 以上をインストールしてください。
1004	不正な引数で実行されています。	サポートセンターに連絡してください。
1005	関連サービスの停止に失敗しました。	Alert Manager Main Service サービスを停止してからインストールを実行してください。
1001	内部エラーが発生しました。	サポートセンターに連絡してください。

### エラー発生時の対処

- エラー要因を排除後、インストーラを再実行してください。その場合、一旦アンインストールを要求された際は、アンインストール後に再実行してください。

サーバ診断カルテ  
セットアップガイド

日 本 電 気 株 式 会 社  
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号  
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

2023 年 06 月

©NEC Corporation 2017-2023

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。